

伊集院保健所感染症情報

2023年第36週（令和5年9月4日～令和5年9月10日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症



今週の COVID-19 の報告数は先週とくらべて微減しました。基本的な感染対策（換気、手指消毒、咳エチケット、混雑した場面や重症化リスクがある方と接触する際のマスク着用、共用部分の消毒等）をもう一度確認しましょう！

高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、体調を整えて感染予防を心がけましょう。



定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第33週	第34週	第35週	第36週	先週からの増減	第35週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	1.80	1.60	1.40	1.00	↘	2.91	↗
COVID-19	-	-	-	13.60	13.80	16.60	15.20	↘	14.69	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.35	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	0.67	0.00	1.33	1.33	→	0.81	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	0.00	0.33	0.00	0.00	→	3.31	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.33	0.00	0.00	→	0.02	↘
手足口病	5	2	-	0.67	0.33	1.33	1.33	→	1.35	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.33	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	1.33	1.00	0.00	0.00	→	1.27	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.33	0.33	0.00	0.00	→	0.02	↘
RSウイルス感染症	-	-	-	1.00	0.67	1.67	2.33	↗	1.13	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			該当なし							

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

※今週から、減少の矢印が『↓』から『↘』に変わりました。

● TOPIC 大雨等で家屋が浸水したら

台風の発生・接近・上陸は、7月から10月にかけて最も多くなります。また、9月以降は、台風が日本付近を通り秋雨前線の活動を活発にさせることで、大雨を降らせることがあります。

台風の大雨や河川の氾濫等により家屋が浸水した場合は、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症にかかる恐れがあるため、以下のことに気をつけて清掃を行いましょう。

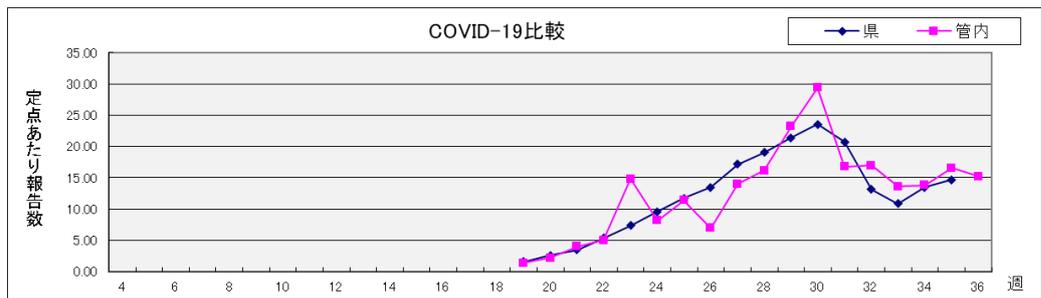
- ・ドアと窓をあけて、しっかり換気を行いましょう。
- ・汚泥は取り除き、水洗い後しっかり乾燥させ、消毒を行いましょう。
- ・清掃中の怪我を予防するために、手袋を着用しましょう。
- ・ほこりを吸い込まないように、マスクを着用しましょう。
- ・清掃が終わったら、しっかりと手洗いを行いましょう。



● 注意すべき感染症

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

今週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、前週の83人（定点あたり16.60）から7人少ない76人（15.20）でし

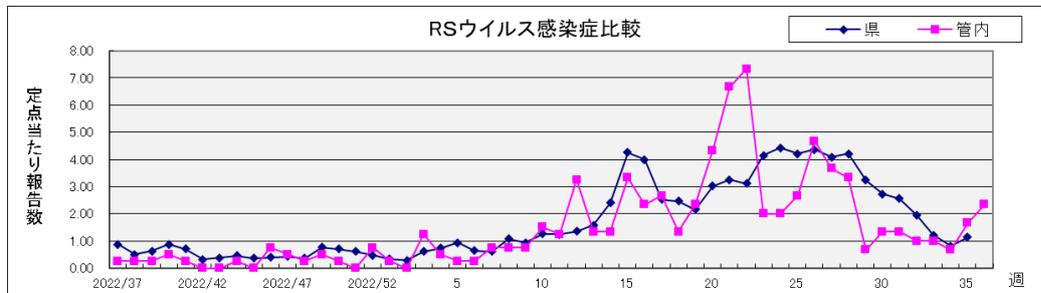


た。年齢別では、10～14歳（15人）、7歳（7人）、5歳（6人）の順で多い報告でした。

★**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から5日を経過し、かつ症状が軽快して24時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から10日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

● RSウイルス感染症

今週の伊集院保健所管内におけるRSウイルス感染症の報告数は、前週の5人（定点あたり1.67）から2人多い7人（2.33）でした。



年齢別では、1歳（3人）、2歳（2人）、0～5ヶ月、6～11ヶ月（各1人）の順に多くなっています。

RSウイルス感染症は、4～6日ほどの潜伏期間の後に、発熱、鼻汁など、かぜに似た症状が現れます。新生児や生後6か月以内の乳児や基礎疾患を有する小児等が感染すると重症化しやすい傾向があるので、注意が必要です。

感染経路は、「飛まつ感染」、「接触感染」です。感染者と直接、濃厚に接触した場合や、ウイルスの付着したおもちゃやコップ、ドアノブなどに触れたり、なめたりすることによってウイルスが眼や咽頭（のど）、鼻の粘膜に付着して感染します。予防には、咳エチケットや子どもたちが日常に触れるおもちゃ等のこまめな消毒、流水・石けんによる手洗いかまたはアルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 9/4～9/10

（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

インフルエンザ、COVID-19の他に、流行性耳下腺炎、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、手足口病が報告されています。

自治体名	インフルエンザ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	手足口病	新型コロナ感染症
日置市	1	1	0	2	1	39
いちき串木野市	0	0	1	0	0	7
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	2	1	46

感染症対策

・せきなどの症状があるときは、人混みへ行くことを控え、人と会う時にはマスクを着用しましょう。

・発熱や咳など、何かしらの症状があるときには、高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊婦さんに会いに行くことは控えましょう。

- ・石鹸で手をよく洗いましょう。こまめに手指消毒を行いましょう。
- ・お肉には、腸管出血性大腸菌やサルモネラなどの細菌が付着していたり、ヒトに害を与えるウイルスや寄生虫に感染していたりする場合があります。よく焼いて食べましょう。
- ・蚊やマダニは感染症を媒介することがあります。刺されないように、長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を使用しましょう。
- ・十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり、体力づくりをしましょう。

